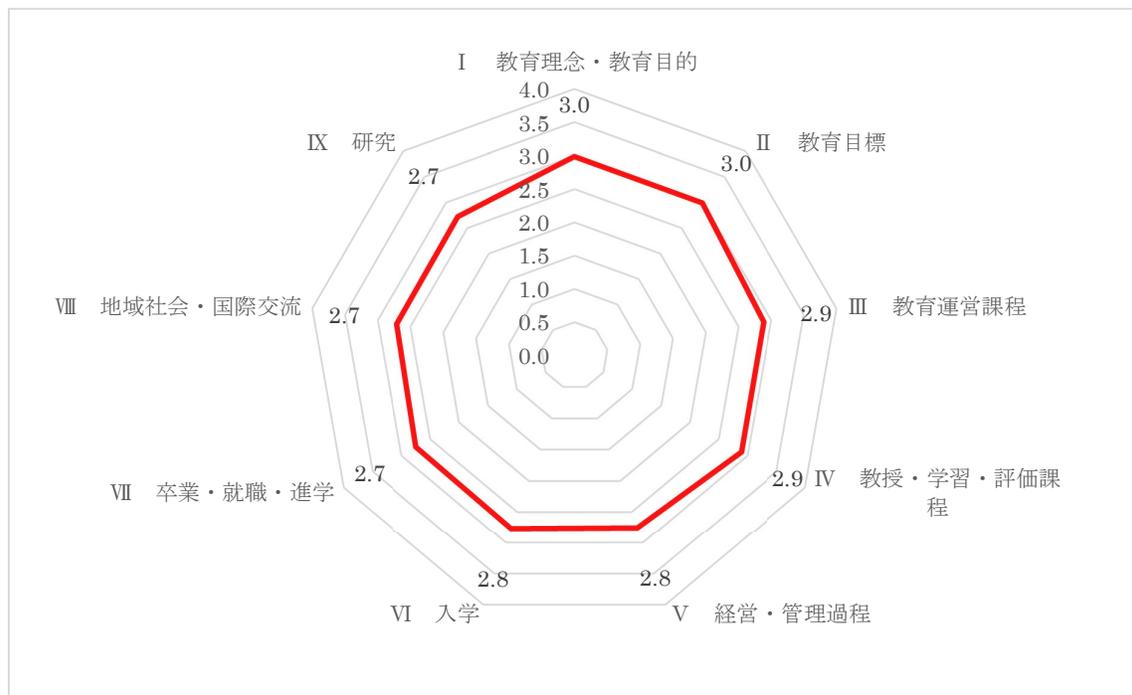


令和5年度 自己評価結果

1. 活動内容（本年度目標）

- ①自己点検・自己評価表が効果的に運用できるよう、見直しができる
- ②ハラスメント対策についての評価方法を検討することができる

2. 結果



令和5年度 学校関係者評価

【項目ごとの学校関係者評価・意見】

項目	学校関係者評価
I 教育理念・教育目的	自己評価について概ね支持する。 「教育課程」及び「学生便覧」の冊子等を介して全職員に周知は図られているので、自己評価の小項目の見直しをするなどにより評価内容が高まると思われます。
II 教育目標	自己評価について概ね支持する。 「教育課程」及び「学生便覧」の冊子等を介して周知は図られているので、自己評価の小項目の見直しをするなどにより評価内容が高まると思われます。
III 教育運営課程	自己評価について概ね支持する。 それぞれの評価項目について曖昧なものが多く、良い取り組みをされていても評価に繋がっていないように見受けられるため、自己評価の小項目の見直しをするなどにより評価内容が高まると思われます。
IV 教授・学習・教育課程	自己評価について概ね支持する。 シラバスのフォーマットが整っていること、講義科目それぞれに講義録が整備されていてワンセットになっていることは良いが、シラバスの作成方法は一考の余地があり、これらを通じて更なる向上に努めていただきたい。
V 経営・管理課程	自己評価について概ね支持する。 学科経営や学級経営の管理については、授業時間数等を計画的に進めることができているかの把握であり、概ね良好と思われるため、自己評価の小項目の見直しをするなどにより評価内容が高まると思われます。
VI 入学	自己評価について概ね支持する。 今後も引き続き、学校説明会やホームページを通じて入学前の学校情報提供が適切になされるよう努めていただきたい。
VII 卒業・就職・進学	自己評価について概ね支持する。 卒業式のタイミングでホームカミングの周知を行った結果、参加者が増えたという取組等を継続することで、今後も卒業生との良好な関係構築に努めていただきたい。
VIII 地域社会	自己評価について概ね支持する。 地域の小中学校での実習が増えているとの報告があったが、その際に本校について学生が紹介する時間を設けることなどを通じて地域社会へ更なるの貢献に努めていただきたい。
IX 研究	自己評価について概ね支持する。 教員が自らの研究に割ける時間に対する評価がなされているように見受けられるが、研修の支援の有無という視点で考えると、研修費も予算化されているところであり、NEO等の研修システムを活用することも支援されているので、学校業務の合間や自宅においていかに時間を確保できるかを評価していくことで、更なる向上に努めていただきたい。